

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】特表 2002-524323 (P2002-524323A)  
 【公表日】平成 14 年 8 月 6 日 (2002.8.6)  
 【出願番号】特願 2000-569993 (P2000-569993)  
 【国際特許分類】

**B 2 9 D 30/08 (2006.01)**

【F I】

B 2 9 D 30/08

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 9 月 13 日 (2006.9.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 タイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置であって、取扱い板 (14) に設けられ、タイヤカーカスの内側に圧接することができ、上昇軸線 XX' のまわりに分布される複数の支持体 (1-4; 44-47) を備えており、これらの支持体 (1-4; 44-47) はカーカスのための少なくとも 1 つの引っ込み取付け / 取り外し位置とカーカスのための少なくとも 1 つの広開保持位置との間で懸架軸線に対して半径方向に移動可能であり、また半径方向の伸張力を支持体 (1-4; 44-47) に及ぼす少なくとも 1 つのばね (21、49-50) を有する装置を備えており、支持体 (1-4; 44-47) の半径方向ストロークを制限するストッパ (23、52) により上記伸張を制限することができるタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置において、ストッパ (23、52) が作動レバー (24、53) に配置されていることを特徴とするタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 2】 上記作動レバー (24、53) は懸架すべきカーカスを装置に適所に設置することによってストッパ (23、52) を外すために作動されることが可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 3】 上記ストッパ (23、52) により許容される支持体 (1-4; 44-47) の半径方向ストロークが調整可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 4】 ストロークの調整は上昇軸線 XX' に対するストッパ (23、52) の距離を変更することによって行なわれることを特徴とする請求項 3 に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 5】 ばね (21、49-50) の張力が調整可能であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のうちのいずれか 1 項に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 6】 少なくとも 4 つの支持体 (1-4) よりなる組立体を備えており、各支持体はラック (16-19) 付き摺動アーム (16-19) と関連されており、取扱い板 (14) により支持された歯付きホイール (20) と協働し、上記ホイール (20) はアーム (6-9) を同時に上昇軸線 XX' に対して遠ざけたり近づけたりするようにアーム (6-9) の並進移動を調和することを特徴とする請求項 1 ないし 5 のうちのいずれか 1 項に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 7】 支持体（１ - ４）の半径方向変位は一方では支持体に関節接合され、他方では上昇軸線XX'に沿って摺動するリング（４８）に関節接合された少なくとも１つの連結ロッド（４０ - ４３）により制御されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 8】 ピストン－シリンダユニット（５９）により、リング（４８）を変位させることによって支持体（４４ - ４７）を上昇軸線XX'に近づけることができることを特徴とする請求項 7 に記載のタイヤカーカスを実質的に垂直に懸架するための装置。

【請求項 9】 タイヤを構成する方法であって、

- カーカスを製造することよりなる第 1 段階を行い、
- 可動支持体（１ - ４；４４ - ４７）を有し、これらの支持体が前もって引っ込み位置に位置決めされた懸架装置に上記カーカスを配置し、
- 上記支持体（１ - ４；４４ - ４７）をカーカスの内壁部に接触状態で広開位置に位置決めし、
- 装置の上記支持体（１ - ４；４４ - ４７）を引っ込み位置に位置決めすることにより上記カーカスを上記懸架装置から外し、
- タイヤを得るために少なくとも仕上げ要素を上記カーカスに配置することよりなる第 2 工程を行い、
- かくして得られるタイヤを加硫するタイヤを構成する方法において、引っ込み位置における支持体の保持はストッパ（２３、５２）を作動することによって行なわれることを特徴とするタイヤを構成する方法。